

インタビュー

傍聴席からひもとく



三浦 隆さん
(田の浜・70歳)

議会を傍聴されたきっかけは何ですか。

町長の改選時期であることから、将来の山田の展望をどのように考え、運営していくのかを把握できればと足を運びました。

議会を傍聴されたの感想はいかがですか。

交付税削減や税収の落ち込みなど、厳しい財政状況の中で山田町が今後、本当にやって行けるのか、山田町として生き残れるのか心配になりました。

今後、議会または町政に望むことは何ですか。

議員の皆さんは町民の代

表として選ばれています。この危機的な財政状況を考えた場合、危機感を持って町政への要請を強めてほしいと思います。

今の山田は若い人たちがいない悲しい状況にあります。仕事がないため山田を去り、産業も明るさが見えず後継者が育たない状況にあります。地域を活性化させ若者を定住させることが必要であると思います。町当局、各議員には勉強を重ねていただき一層の奮闘をお願いしたいと思います。

三月定例会には、六日間で述べ三十七人の方々が議会を傍聴しました。議会での一般質問や議案審議などを通じて町政課題や町の将来方向が見えてきます。皆さんで議会を傍聴しましょう。六月定例会は六月初旬に開会の予定です。

本紙が全国コンクールで入選

平成15年度町村議会広報全国コンクールで「やまだ議会だより」(98号)が、全国460点の応募の中から入選に選ばれました。

これからもより良い紙面作りを目指し、委員一同頑張りますので、町民の皆さんのご愛読をお願いします。



議員出欠表

◎ 病气入院 □ 公務欠席
△ 遅刻早退 ○ 自己都合

月 日	本会議種別	欠 席 者 等 氏 名
1月15日	第1回臨時会	○山崎幸男 ◎生駒利治
2月4日	第2回臨時会	◎生駒利治
2月24日	第1回定例会	△佐藤照彦
3月3日	〃	△川村敬一 △昆暉雄(公務)
3月4日	〃	○日山忠郎 △木下志き子
3月5日	〃	○日山忠郎
3月12日	〃	○佐藤忠暉

あとかき



▼暖かい爽やかな風を感じる季節となりました。梅の開花とともに卒業のシーズンも終わり、桜の開花とともに入学シーズンが始まります。新しい出発を夢と希望を持って、輝く未来に向かい羽ばたいてほしいものです▼国内経済は上向きと言われていますが、地方は依然として厳しい状況にあります。戦国の大名毛利元就は、子孫にむやみな戦いはせず、領土を安全に守ることを論じ、毛利家は未永く栄えました。辛抱することも大事であるとの教えで、今がまさにそのときであると思います▼今定例会では、平成十六年度の町長施政方針が示されました。厳しい時代を行政・議会・町民が一体となって乗り越えることが大事であり、そのため私自身も微力ながら努力していきます▼「やまだ議会だより」が全国コンクールで入選となりました。今後も皆さまに親しまれる広報づくりのため頑張りますので、ご愛読をお願いします。(鎌田)